1. 距離空間の復習

岩井雅崇 2022/10/04

問 1.1 正の自然数 n について \mathbb{R}^{n+1} の部分集合 S^n を

$$S^n = \{(x_1, \dots, x_{n+1}) \in \mathbb{R}^{n+1} \mid \sum_{i=1}^{n+1} x_i^2 = 1\}$$

と定める. S^n は \mathbb{R}^{n+1} の有界閉集合であることを示せ.

問 1.2 閉区間 [a,b] とし,

$$B[a,b] := \{f | f は [a,b] 上の実数値有界関数 \}$$

とし $f, g \in B[a, b]$ について

$$d(f,g) := \sup_{x \in [a,b]} \{ |f(x) - g(x)| \}$$

と定める. (B[a,b],d) が距離空間であることを示せ.

問 1.3 実数列 $x=\{x_n\}_{n=1}^\infty$ で $\sum_{i=1}^\infty x_i^2 < \infty$ となるものの集合を l^2 とする. $x,y \in l^2$ について

$$d(x,y) = \sqrt{\sum_{i=1}^{\infty} (x_i - y_i)^2}$$

と定める. d が well-defined であることを示し 1 , (l^2,d) は距離空間となることを示せ. (この空間は Hilbert 空間と呼ばれる.)

- 問 1.4 距離空間 (X,d) とその部分集合 $A \subset X$ において次を示せ.
 - (a) A の内部 A^i は A に含まれる最大の開集合である.
 - (b) A の閉包 \overline{A} は A を含む最小の閉集合である.

ここで A^i は A の内点の集合とし, \overline{A} は A の触点の集合とする. また A が開集合であるとは $A=A^i$ となることとし A が閉集合であるとは $A=\overline{A}$ となることとする.(教科書 4 章の定義通りとする.)

- 問 1.5 d, d' を X 上の距離関数とする.
 - (a) ある正の数 C>0 があって任意の $x,y\in X$ について $d(x,y)\leq Cd'(x,y)$ ならば、恒等 写像 $id:(X,d')\to (X,d)$ は連続であることを示せ.
 - (b) (X,d) における開集合全体の集合を \mathcal{O}_d とし, (X,d') における開集合全体の集合を $\mathcal{O}_{d'}$ とする. ある正の数 C>0 があって, $C^{-1}d'(x,y) \leq d(x,y) \leq Cd'(x,y)$ ならば, $\mathcal{O}_d=\mathcal{O}_{d'}$ であることを示せ.

 $[\]overline{1}\sum_{i=1}^{\infty}(x_i-y_i)^2$ がなぜ収束するのかを示してください.

- 問 1.6~A を距離空間 X の部分集合とするとし, $f:X\to\mathbb{R}$ を f(x)=d(x,A) で定める. f は連続であることを示せ.
- 問 1.7 任意の空でない集合 X について、ある距離関数 d があって (X,d) は距離空間になることをしめせ、
- 問 1.8*(X,d) を距離空間とする. X の部分集合 A が有界であるとは、ある正の数 M があって任意の $x,y\in A$ について $d(x,y)\leq M$ であることとする. $\mathcal{B}(X)$ を X の有界閉集合全体の集合とする. 次の問いに答えよ.
 - (a) $A,B\in\mathcal{B}(X)$ について $\sup_{x\in A}d(x,B)<+\infty$ であることを示せ. 2
 - (b) $A, B \in \mathcal{B}(X)$ について

$$d_H(A, B) = \max\{\sup_{x \in A} d(x, B), \sup_{y \in B} d(A, y)\}$$

とする. 任意の $x \in X$ について

$$d(x, A) \leq d(x, B) + d_H(A, B)$$

が成り立つことを示せ.

問 1.9 * 問 1.8 での $(\mathcal{B}(X),d_H)$ は距離空間になることを示せ. (これはハウスドルフ距離と呼ばれる.)

 $^{^{2}}d(x,B)=\inf_{y\in B}d(x,y)$ である.